



愛の手であなたをつつむ 被害者支援

会報 ふくしまの空

発行 公益社団法人ふくしま被害者支援センター
〒960-8002 福島市森合町14-6 角田ビル2F
事務局 TEL&FAX 024-533-7830
ホームページアドレス <http://www.vsc-fukushima.net/>



白水阿弥陀堂(いわき市)

犯罪被害者支援功労団体表彰受賞

平成30年10月12日(金)、東京都イイノホールにおいて、「全国被害者支援フォーラム2018」が開催され、当センターは犯罪被害者支援に功労のあった団体として警察庁長官及び全国被害者支援ネットワークより表彰を受けました。

10月15日(月)福島県警察本部において、当センター理事長が福島県警察本部長に受賞報告をしました。



表彰状



イイノホールにおいて表彰受賞



向山県警察本部長(左)に受賞報告をする生島理事長(右)



福島県警察本部において

～街頭広報・募金活動のお知らせ～

当センターでは、11月25日(日)から12月1日(土)の「犯罪被害者週間」に合わせて、福島市・会津若松市・郡山市・いわき市において街頭広報・募金活動を行い、犯罪被害者支援の必要性や重要性、センター利用の促進と途切れない支援活動への協力を呼び掛けます。

【開催日時・場所】

- 11月26日(月) 13:00～ 福島市…JR福島駅東口広場
- 11月27日(火) 13:00～ 会津若松市…リオンドール会津アピオ店出入口付近
- 11月29日(木) 13:00～ 郡山市…JR郡山駅西口中央広場
- 11月30日(金) 13:00～ いわき市…JRいわき駅南口駅前広場

皆様の温かいご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。

－ センターニュース －

●各種研修会を開催

被害者に寄り添った支援活動を行うために各種研修会を開催しました。

インテーク会議では、県警・大学院教授・臨床心理士・弁護士を講師に招き、ひとつひとつの相談や支援への対応方法についてアドバイスを頂きながら、支援が適切に提供できるよう学びました。



全体研修会の様子



インテーク会議の様子

日時	研修テーマ	講師	内容	参加者
4月5日(木)	第1回 インテーク会議	県警・大学院教授・臨床心理士・弁護士		23名
4月17日(火)	第1回 全体研修会	ふくしま被害者支援センター理事長(福島大学大学院教授) 生島 浩氏	被害者相談の基本 ～その範囲・適用・限界について～	22名
6月4日(月)	第2回 インテーク会議	県警・大学院教授・臨床心理士・弁護士		22名
6月26日(火)	第2回 全体研修会	全国被害者支援ネットワーク認定コーディネーター(千葉) 藤田さよ子氏	現場に即した直接的支援	24名
7月19日(木)	第1回 事例検討会		強姦性交等罪・傷害罪の 相談に関して	19名
8月1日(水)	第3回 インテーク会議	県警・大学院教授・臨床心理士・弁護士		19名
8月2日(木)	第3回 全体研修会	桜井産婦人科医院院長 桜井 秀氏	「生と性」性被害者への支援	27名
8月28日(火)	第2回 事例検討会		交通事故・殺人未遂の 相談に関して	18名
9月13日(木)	第4回 全体研修会	国立研究開発法人理化学研究所マーモセット神経構造チーム 精神科医師 村山 綾子氏	性被害の対応と留意点	20名
9月18日(火)	第3回 事例検討会		公費負担手続きについて	10名
9月26日(水)	第4回 インテーク会議	県警・大学院教授・臨床心理士・弁護士		17名

●新しく支援活動員になられた方に感想を伺いました。

活動を始めて四か月、支援員さんの対応や面接に同行させて頂いて、研修だけでは足りないその場に応じた対応や相手に寄り添う事の大切さ、難しさを実感しています。

より多くの知識を得て、相談者に安心して頂けるように今後も自己研鑽し頑張っていきたいです。
(A・H)

犯罪や交通事故被害に遭われ、悲しみを誰にも話せずひとりで抱えている方の苦しさやつらさを少しでも支える支援を行っていきたくです。

被害者の方のそばに寄り添い、思いやりを持ちこれからどのようにしていけばよいか一緒に考えていく支援をしていきたいと思ひます。

(Y・M)



●平成30年度質の向上研修上半期北海道・東北ブロック研修会

平成30年7月9日(月)～10日(火)宮城県仙台市において、全国被害者支援ネットワーク主催による質の向上研修上半期研修会が開催されました。今回の研修には、当センターから支援活動員3名が参加しました。研修会に参加した支援活動員に感想を伺いました。

内容は、電話相談から直接支援・事例検討会と幅広く充実した研修だったと思います。

ロールプレイは苦手で、プログラムに入っているたびに憂鬱になりましたが、実際に長年支援に関わって来られた方が講師としてお話しされていたので、やってみると大切さを感じることができました。

「直接支援の実際」では、まだ経験したことのない中での研修ではありましたが、経験者の話しを聞きながらロールプレイを行うことができ学びになりました。

「事例検討会の意義と参加方法について」では、様々な関わりから起こる悩みや困難を一人だけで抱えずに、みんなで共有し話し合い、共有理解のもと次の支援につなげていくことがひとりひとりを支え、センターを支え、センターの質の向上につながると思いました。

こういった研修会に初めて参加して、同じく支援に携わる他県の方々とお話しすることができ、よい刺激になりました。今後の支援活動に活かしていきたいと思います。

(A・Y)

●被害者に優しいふくしまの風運動(命の大切さを学ぶ授業)実施

当センターでは、被害者に優しいふくしまの風運動の事業の一環として県警察と共催し、県内の中学・高校生を対象に「命の大切さを学ぶ授業」を実施しています。

この事業は、犯罪・交通事故の被害者遺族の方に講演していただき、生徒達が改めて命の大切さを学び、犯罪や事故を起こしてはならないという意識の向上を図る機会になっています。

今年度は、県内の中学校14校・高校6校で実施しました。



県立清陵情報高等学校



県立白河旭高等学校

【平成30年度実施校】

伊達市立伊達中学校・二本松市立第三中学校・郡山市立郡山第二中学校
郡山市立富田中学校・古殿町立古殿中学校・塙町立塙中学校・田村町立滝根中学校
会津若松市立北会津中学校・猪苗代町立猪苗代中学校・喜多方市立山都中学校
下郷町立下郷中学校・いわき市立内郷第二中学校・いわき市立小名浜第二中学校
南相馬市立原町第一中学校

(中学校14校)

県立川俣高等学校・県立福島北高等学校・県立清陵情報高等学校
県立白河旭高等学校・県立会津農林高等学校・県立ふたば未来学園高等学校

(高校6校)

～全国ナビダイヤル広報小冊子を 県内の小中学校に配布～

全国ナビダイヤルは、各センターの開設時間外に、犯罪の被害に遭われた方、ご家族、ご遺族からのご相談をお受けします。秘密は固く守られます。

当センターの開設時間内(平日10:00～16:00)は、当センターにつながります。

当センター開設時間外及び土日・祝日は、サポートセンターで相談を受け、内容により当センターに引き継がれます。

県内各小中学校に配布した小冊子には、どのような事が犯罪になるのか、犯罪に遭った時にはどうしたらいいかがわかりやすく紹介されています。

全国共通ナビダイヤル
(通話料がかかります)

なやみはここよ
0570-783-554

受付時間/7:30～22:00
(12/29～1/3までを除く)

今回は、冊子の中から犯罪被害に遭った場合、体や心に出てくる反応についてご紹介します。

話してみようよ



「今」知っておきたい、「犯罪被害」のおはなし

自分で自分をコントロールできない

犯罪の被害に遭う＝犯罪被害者になるとどうなると思いますか？ 犯罪被害者は、被害を受けたことで心理的にも身体的にも様々な影響が出て、心や身体をコントロールすることがとても難しくなります。

被害による影響 ①

心理的な反応

- ・被害にあった恐怖が突然よみがえる
- ・情緒不安定になる
- ・人前に出たくない
- ・無気力になる
- ・やる気が出ない
- ・好きなこともやりたくない
- ・会話をしたくない
- ・心のバランスがとれない

身体的な反応

- ・心臓がどきどきする(動悸)
- ・ぐっすり眠れない
- ・常にだるい
- ・腹痛、下痢、便秘
- ・息苦しい、過呼吸
- ・頭痛
- ・食欲がない

このような反応が被害直後から出ることもありますし、何年も続くこともあります。また、被害者は、自分が苦しんでいることを他人に伝えることが難しくなることがあります。

日本では犯罪の被害に遭うことは自己責任であるという風潮がまだまだ残っています。例えば性犯罪被害で「暗い道を歩かなければよかったのに」とか「運が悪かったね」と考える人が少なくありません。しかし、もし被害者が暗い道を歩いていたとしても犯罪の被害に遭っていい理由には絶対になりません。

【募金箱設置のご案内】

施設関係や企業及び団体に設置のご協力をお願いしています。

ご連絡いただければ、募金箱をお届けします。



寄付型

被害者支援自動販売機で
犯罪被害者を支援する
活動のパートナーに
なってください。



既設の自動販売機を
活用できます。

寄付金は自由に
設定可能です。

飲料代金から売上金の一部を
犯罪被害者支援活動に寄付してください。

PRスペース(写真赤枠)に
貼付けるだけで設置終了です。
貼付けの費用はかかりません。



被害者支援自動販売機の設置協力企業

(順不同・敬称略)

(株)伊藤園

(株)サン・ベンディング東北

(株)サン・ベンディング福島

(株)サン・ベンディング相双

(株)ジャパンビバレッジホールディングス

サントリービバレッジサービス(株)

(株)ジャパンビバレッジ東北

キリンビバレッジ(株)

福島ヤクルト販売(株)

ダイドードリンコ(株)

コカ・コーラボトラーズジャパン(株)

三本コーヒー(株)

FVジャパン(株)



賛助会員募集中

当センターは、活動経費の多くが皆様の会費、ご寄付により運営されています。

年会費 ○ 個人…1口 2,000円より ○ 法人・団体…1口 10,000円より

福島県公安委員会指定「犯罪被害者等早期援助団体」
公益社団法人ふくしま被害者支援センター

<http://www.vsc-fukushima.net/>

〒960-8002 福島市森合町14-6 角田ビル2F(福島中央郵便局向かい) TEL/FAX 024-533-7830

*当センターは公益法人です。会費を納めたり、寄付をした場合は税法上の優遇措置があります。

*寄付は金額を問いません。